Cisco IP Phone 7800 Series for Third-Party Call Control ユーザ ガイド

初版：2016 年 01 月 29 日

シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
http://www.cisco.com/jp
お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255 （フリーコール、携帯・PHS含む）
電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00
http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（**www.cisco.com/jp/go/safety_warning/**）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

FCC クラス A 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

FCC クラス B 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。干渉しているかどうかは、装置の電源のオン/オフによって判断できます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します。
- 装置と受信機との距離を離します。
- 受信機と別の回路にあるコンセントに装置を接続します。
- 販売業者またはラジオやテレビに詳しい技術者に連絡します。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system.All rights reserved.Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries.To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: http://www.cisco.com/go/trademarks.Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners.The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company.(1110R)

© 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

目 次

電話機 1

Cisco IP Phone 7800 シリーズ 1

電話機のセットアップ 2

ハンドセット レストの調整 2

電話機の視野角の変更 3

ネットワークへの接続 3

ネットワーク設定のリセット 3

ケーブル ロックによる電話機の固定 4

設定ユーティリティ ページ 4

短縮ダイヤル番号 5

ボタンとハードウェア 6

ナビゲーション 8

ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン 9

電話スクリーンの機能 10

電話スクリーンのクリーニング 10

コールと回線の違いについて 10

電力要件 11

省電力 11

追加のヘルプと情報 11

アクセシビリティ機能 12

トラブルシューティング 12

電話機に関する情報の検索 12

接続が失われた場合 13

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定 13

Calls 15

コールの発信 15

コールの発信 15

スピーカーフォンによるコールの発信 16
ヘッドセットによるコールの発信 16
リダイヤルする 16
短縮ダイヤル 16
電話スクリーンからの短縮ダイヤル コードの割り当て 17
短縮ダイヤル コードを使用したコールの発信 17
国際番号のダイヤル 17
セキュア コール 18
コールへの応答 18
コールへの応答 18
コール待機への応答 18
コールの拒否 19
サイレントをオンにする 19
同僚の電話機への応答（コール ピックアップ） 20
グループ内のコールへの応答（ピックアップ） 20
音声のミュート 20
コールの保留 20
コールを保留にする 21
長時間にわたって保留されているコールへの応答 21
アクティブ コールと保留コールの切り替え 21
Cisco IP Phone 7811 上でのアクティブ コールと保留中のコールの切り替え 21
コール パーク 22
コール パークを使用したコールの保留 22
コール パークを使用した保留中のコールの取得 22
コールの転送 23
通話の転送 24
から別の担当者にコールを転送する 24
転送を行う前の会話 24
電話会議とミーティング 25
コールへの他のユーザの追加 25
複数の回線 25
プライマリ回線でのすべてのコールの表示 25

最も古いコールから先に応答 26
電話機でのすべてのコールの表示 26
電話機 26
共有回線のコールに参加する 26
連絡先（Contacts） 29
社内ディレクトリ 29
社内ディレクトリの連絡先のダイヤル 29
Broadsoft ディレクトリ 30
Broadsoft ディレクトリの連絡先の検索（簡易検索） 30
Broadsoft ディレクトリの連絡先の検索（高度な検索） 30
Broadsoft ディレクトリの連絡先タイプの編集 31
Boradsoft ディレクトリ名の編集 31
Broadsoft ディレクトリのサーバ名の編集 32
Broadsoft ディレクトリのユーザ ID の編集 32
Broadsoft ディレクトリ パスワードの編集 32
LDAP ディレクトリ 33
LDAP ディレクトリの連絡先の検索 33
パーソナル ディレクトリ 33
パーソナル ディレクトリへの新しい連絡先の追加 34
パーソナル ディレクトリ内の連絡先の検索 34
パーソナル ディレクトリ内の連絡先への発信 34
パーソナル ディレクトリ内の連絡先の編集 35
パーソナル ディレクトリからの連絡先の削除 35
通話履歴 37
コール履歴リスト 37
通話履歴の表示 37
通話履歴への復帰 38
通話履歴のクリア 38
コール レコードの削除 39
[ボイスメール（Voicemail）] 41
ボイスメール アカウント 41
新着メッセージ インジケータ 41

ボイスメールへのアクセス 42
音声ボイスメールへのアクセス 42
設定 43
呼出音を変更する 44
特定の状況でのコールの転送 44
非通知着信拒否 45
発信者 ID の表示のブロック 45
特定の回線に対するサイレントをオンにする 45
コールの保護 46
自動応答ページの設定 47
すべての回線でサイレントをオンにする 47
すべての回線でコール転送をオンにする 47
ボイスメールの設定 48
時間形式の変更 49
日付形式の変更 49
スクリーン セーバー モードの変更 50
コントラストの調整 50
電話スクリーン バックライトの調整 51
アクセサリ 53
サポートされるアクセサリ 53
ヘッドセット 54
標準ヘッドセット 54
標準ヘッドセットの接続 54
ワイドバンド標準ヘッドセットの設定 54
製品の安全性とセキュリティ 57
安全性とパフォーマンスに関する情報 57
停電 57
外部デバイス 57
電源について 58
ネットワーク輻輳時の電話の動作 58
FCC 準拠宣言 58
FCC Part 15.21 に関する宣言 58

FCC RF 被曝に関する宣言 58
FCC レシーバおよびクラス B デジタル装置に関する宣言 59
シスコ製品のセキュリティの概要 59
重要なオンライン情報 59

第 1 章

電話機

- Cisco IP Phone 7800 シリーズ，1 ページ
- 電話機のセットアップ，2 ページ
- 設定ユーティリティ ページ，4 ページ
- ボタンとハードウェア，6 ページ
- 電力要件，11 ページ
- 省電力，11 ページ
- 追加のヘルプと情報，11 ページ

Cisco IP Phone 7800 シリーズ

Cisco IP Phone 7811、7821、7841、および 7861 は、使いやすく高度にセキュアな音声通信を可能にします。

表 *1*：*Cisco IP Phone 7800* シリーズの主な機能

機能	7811	7821	7841	7861
画面	グレースケール、バックライトなし	グレースケール、バックライトあり	グレースケール、バックライトあり	グレースケール、バックライトあり
回線（Lines）	1	2	4	16

機能	7811	7821	7841	7861
固定機能キー	8	9	9	9

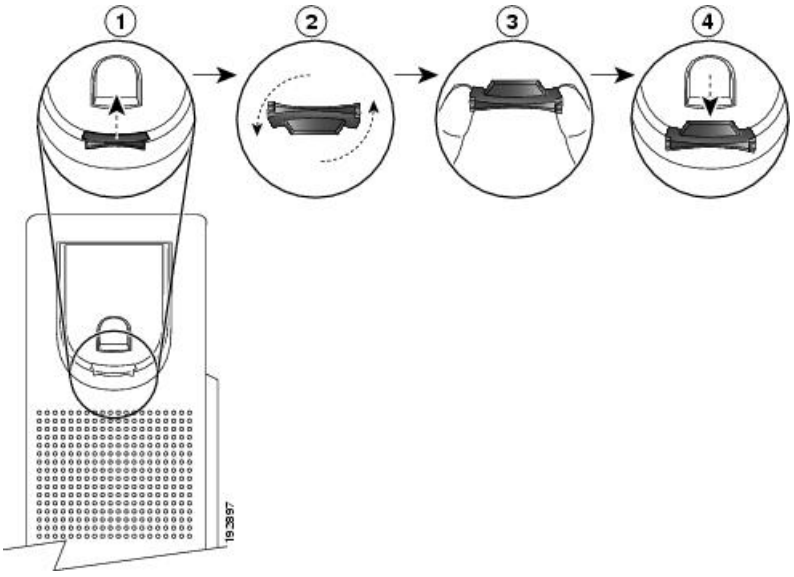
電話機を使用するには、電話機をネットワークに接続して、コール制御システムへの接続を設定する必要があります。コール制御システムに応じて、さまざまな機能が電話機でサポートされます。管理者が電話機をセットアップする方法によっては、すべての機能を電話機で使用できない場合があります。

電話機のセットアップ

通常は、管理者が電話機をセットアップしてネットワークに接続します。電話機のセットアップと接続が完了していない場合は、管理者に問い合わせてください。

ハンドセット レストの調整

電話機が壁に取り付けられている場合、またはハンドセットが受け台からすぐに滑り落ちる場合には、受話器が受け台から滑り落ちないようにハンドセット レストを調整する必要があります。



手順

ステップ 1 受け台からハンドセットを外し、ハンドセット レストからプラスチック タブを引き出します。
ステップ 2 タブを 180 度回します。
ステップ 3 角のノッチが手前になるように、2 本指でタブを持ちます。
ステップ 4 タブを受け台のスロットに合わせ、タブをスロット内に均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。
ステップ 5 ハンドセットをハンドセット レストに戻します。

電話機の視野角の変更

電話機の角度を変えることで画面のグレアを抑えることができます。

手順

ステップ 1 電話機をネットワークから切り離します。
ステップ 2 キーパッドが机の表面を向くように電話機を配置します。
ステップ 3 一方の手でフットスタンドの片側を持ち、もう一方の手を電話機の上に置きます。
ステップ 4 電話機を押さえながら、フットスタンドを持ち上げます。
ステップ 5 フットスタンドをひっくり返します。
ステップ 6 フットスタンドが固定されるまでフットスタンドを電話機に押し込みます。
ステップ 7 電話機を立ててネットワークに接続します。

ネットワークへの接続

電話機は電話ネットワークに接続する必要があります。

- 有線接続：イーサネット ケーブルを使用して電話機をネットワークにつなげます。

ネットワーク設定のリセット

使用する電話機がオフィスですでに使用されていた場合、Expresswayに接続する前に、ネットワーク設定をリセットする必要があります。

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [管理者設定（Admin Settings）] を選択します。

ステップ 3 [初期設定へのリセット（初期設定へのリセット）] を選択します。
電話機がリセットされます。

ケーブル ロックによる電話機の固定

最大 20 mm 幅のラップトップ ケーブル ロックで電話機を固定することができます。

手順

ステップ 1 ケーブル ロックのループの端を取り、電話機の固定場所となる物の周りに巻き付けます。

ステップ 2 ロックをケーブルのループの端まで通します。

ステップ 3 ケーブル ロックのロックを解除します。

ステップ 4 ロック ボタンを押したままにして、ロックの歯の位置を合わせます。

ステップ 5 ケーブル ロックを電話機のロック スロットに挿入し、ロック ボタンを放します。

ステップ 6 ケーブル ロックをロックします。

設定ユーティリティ ページ

コンピュータからアクセス可能な設定ユーティリティ ページで、いくつかの電話機設定をカスタマイズできます。ページの URL、ユーザ ID、およびパスワードは管理者から与えられます。

設定ユーティリティ ページでは、電話機の機能、回線設定、電話サービスを制御できます。

- 電話機の機能には短縮ダイヤル、サイレント機能、個人用アドレス帳などがあります。
- 回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線設定には、不在転送、ビジュアルおよびオーディオ メッセージ インジケータ、呼出音のパターン、その他の回線固有の設定が含まれます。

設定ユーティリティ ページを使って設定できるいくつかの機能を次の表に示します。

機能	説明
コール転送	電話機でコール転送が有効になっている場合に、コールを受信する番号を指定します。設定ユーティリティページを使用すると、より複雑なコール転送機能（回線がビジー状態の場合の動作など）をセットアップできます。
追加の電話機	デスクの電話機と同じ電話番号を使用してコールの発信と受信を行う追加の電話機を指定します。ブロックする連絡先や優先する連絡先を定義して、特定の番号からのコールを追加の電話機に転送することを制限したり許可したりできます。また、追加の電話機をセットアップするときには、次の機能も設定できます。 • シングル ナンバー リーチ：デスクの電話機に着信したとき、追加の電話機の着信音を鳴らすかどうかを指定します。
短縮ダイヤル	短縮ダイヤル番号に電話番号を割り当てると、その相手にすばやくコールをかけることができます。

関連トピック

短縮ダイヤル, （16 ページ）
コールの転送, （23 ページ）

短縮ダイヤル番号

電話機で番号をダイヤルするときに、一連の数字を入力します。短縮ダイヤル番号をセットアップする場合は、短縮ダイヤル番号にコールの発信に必要なすべての数字を含める必要があります。たとえば、外線と通話するために最初に 9 をダイヤルする必要がある場合は、9 に続けて相手の番号を入力します。

他のダイヤルする数字を番号に追加することもできます。追加の数字の例には、会議アクセスコード、内線、ボイスメール パスワード、承認コード、課金コードなどがあります。

ダイヤル文字列には次の文字を含めることができます。

- 0 ～ 9
- ポンド（#）
- アスタリスク（*）
- カンマ（,）：これは一時停止文字であり、2 秒間遅延した後でダイヤルを続けます。複数のカンマを連続させることができます。たとえば、2 個のカンマ（,,）は、4 秒間のポーズを表します。

ダイヤル文字列の規則は次のとおりです。

- カンマを使用してダイヤル文字列の部分を区切ります。
- 承認コードは、常に、短縮ダイヤル文字列の中で課金コードより前に置く必要があります。
- 文字列内の承認コードと課金コードの間には 1 つのカンマが必要です。
- 承認コードと追加の数字を含む短縮ダイヤルの場合は、短縮ダイヤル ラベルが必要です。

短縮ダイヤルを設定する前に、その番号に少なくとも 1 回は手動でダイヤルして、その数字列が正しいことを確認してください。

（注） 短縮ダイヤルの承認コード、課金コード、および追加の数字は、電話機の通話履歴に保存されません。短縮ダイヤルを使って通話先に接続した後で [リダイヤル（Redial）] を押すと、必要な承認コード、課金コード、または追加の数字を手動で入力するよう求められます。

例

承認コードと課金コードが必要な特定の内線の電話用に短縮ダイヤル番号をセットアップする場合は、以下のような要件を満たす必要があります。

- 外線の 9 をダイヤルする必要がある
- 通話先の番号は 5556543 である。
- 承認コード 1234 を入力する必要がある。
- 課金コード 9876 を入力する必要がある。
- 4 秒ほど待機する。
- 電話がつながった後、内線 56789# をダイヤルする必要がある。

このシナリオでは、短縮ダイヤル番号は 95556543,1234,9876,,56789# となります。

関連トピック

課金コードまたは承認コードを必要とするコール

ボタンとハードウェア

Cisco IP Phone 7800 シリーズには、さまざまなハードウェア タイプがあります。

- Cisco IP Phone 7811：画面の両側にボタンなし
- Cisco IP Phone 7821：画面の左側に 2 つのボタン
- Cisco IP Phone 7841：画面の両側に 2 つのボタン
- Cisco IP Phone 7861：画面の右側に 16 個のボタン

次の図に、Cisco IP Phone 7841 を示します。

図 *1*：*Cisco IP Phone 7800* シリーズのボタンと機能

1	ハンドセット、およびライト ストリップ付きハンドセット	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイス メッセージ（赤色に点灯）があるかどうかを示します。
2	プログラム可能な機能ボタンと回線ボタン	：電話回線、機能、およびコールセッションにアクセスします。 詳細については、ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン，（9 ページ）を参照してください。 Cisco IP Phone 7811 にはプログラム可能な機能ボタンや回線ボタンがありません。
3	ソフトキー ボタン	：機能とサービスにアクセスします。 詳細については、ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン，（9 ページ）を参照してください。
4	ナビゲーション クラスタ	ナビゲーション リングと選択 ボタン：メニューをスクロールしたり、項目を強調表示したり、強調表示されている項目を選択したりします。

5	保留/再開、会議、および転送	保留/再開 : アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。 会議 : 会議コールを開始します。 転送 : コールを転送します。
[6]	スピーカーフォン、ミュート、およびヘッドセット	スピーカーフォン : スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカーフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。 ミュート : マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。 ヘッドセット : ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンのときは、ボタンが点灯します。 Cisco IP Phone 7811 にはヘッドセット ボタンがありません。
7	連絡先、アプリケーション、およびメッセージ	連絡先 : パーソナル ディレクトリと社内ディレクトリにアクセスします。 アプリケーション : 通話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、および電話機のモデル情報にアクセスします。 メッセージ : ボイス メッセージング システムに自動ダイヤルします。
8	音量 ボタン :	 ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの音量（オフフック）と呼出音の音量（オンフック）を調整します。

ナビゲーション

ナビゲーション クラスタの外側のリングを使用して、メニューをスクロールします。ナビゲーション クラスタの内側の [選択（Select）] ボタンを使用して、メニュー項目を選択します。

メニューの各項目にはインデックス番号があります。キーパッドでインデックス番号を入力することにより、メニュー項目を選択できます。

ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン

電話機上の機能との対話は複数の方法で行うことができます。

- 画面下部に配置されたソフトキーを使用すれば、電話機に機能を付加することができます。ソフトキーは、その時点で何を実行しているかによって異なります。[...] ソフトキーは、他にも使用可能なソフトキーがあることを意味します。
- 画面の両側に配置された機能ボタンと回線ボタンは、電話機能と電話回線へのアクセスを可能にします。
  - 機能ボタン：回線上のコールを表示したり、短縮ダイヤルなどの機能にアクセスしたりするために使用します。
  - 回線ボタン：コールに応答したり、保留中のコールを再開したりするために使用します。アクティブコールに使用されていなければ、不在着信表示などの電話機能を開始するために使用されます。

機能ボタンと回線ボタンのランプは、次のステータスを示します。

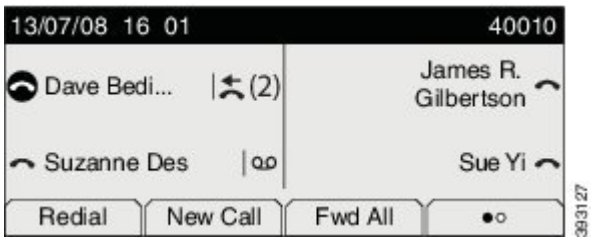
- 緑：回線がアイドル状態です。
- 赤、点灯：回線がアクティブ状態または使用中です。
- 赤、点滅：回線が保留中、または着信コールがあります。
- オレンジ、点灯：回線が未登録です（使用できません）。

管理者は、いくつかの機能をソフトキーまたは機能ボタンとして設定できます。さらに、ソフトキーや関連するハードボタンを使っていくつかの機能にアクセスすることもできます。

電話スクリーンの機能

電話スクリーンには、電話番号、アクティブ コールと回線のステータス、ソフトキー、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、その電話機に関する情報が表示されます。スクリーンにはヘッダー行、中央セクション、フッター行の 3 つのセクションがあります。

図 *2*：*Cisco IP Phone 7800* の画面



スクリーンの最上部にはヘッダー行があります。ヘッダー行には、電話番号と現在の日時の他に、さまざまなアイコンが表示されます。該当する機能がアクティブであるときに、アイコンが表示されます。

電話スクリーンの中央部には、電話機の回線と機能ボタンに関連した情報が表示されます。

スクリーン下部にはソフトキー ラベルの行があります。各ラベルは、スクリーンの下にあるソフトキー ボタンのアクションを示しています。

電話スクリーンのクリーニング

注意 液体や粉末は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

手順

画面は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

コールと回線の違いについて

本書で電話機の使用法を説明する際に使っている回線およびコールという用語には、かなり独特な意味合いがあります。両者の違いをここで説明します。

- 回線：回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。電話機に割り当てられた回線数は、電話スクリーンの右側に表示されます。回線の数は、電話番号および電話回線アイコンの数と同じです。

- コール：1 本の回線で複数のコールをサポートできます。デフォルトで、電話機は回線あたり 2 つの接続コールをサポートしますが、管理者は必要に応じてこの数を調整できます。

  アクティブとなり得るコールは常に 1 つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

たとえば 2 つの回線があり、各回線で 4 つのコールがサポートされる場合、一度に最大 8 つの接続コールが存在する可能性があります。これらのうち 1 つだけがアクティブで、他の 7 つは保留中のコールとなります。

電力要件

Cisco IP Phone 7800 シリーズでは、次のシスコ承認の電源アダプタを使用する必要があります。

- Phihong 社製アダプタ（PSC18U-480）：定格：48 VDC 0.38 A
- Delta 社製アダプタ（EADP-18VB B）、定格：48 VDC 0.375 A

省電力

管理者は、電話機を使用していないときに電話スクリーンで消費される電力を減らすことができます。管理者が設定できる省電力のレベルは、次のとおりです。

- 省電力：電話機が一定時間にわたって非アクティブ状態になるとバックライトや画面がオフになります。

  バックライトを管理することができます。

（注） Cisco IP Phone 7811 は Power Save をサポートしていません。

関連トピック

電話スクリーン バックライトの調整, （51 ページ）

追加のヘルプと情報

電話機で利用可能な機能について不明な点がある場合は、管理者にお問い合わせください。

シスコの Web サイト（http://www.cisco.com）に電話機とコール制御システムに関する詳細が掲載されています。

- クイック スタート ガイドおよびエンドユーザ ガイド（英語）については、次のリンクを参照してください。

http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/products-user-guide-list.html

- 英語以外のガイドについては、次のリンクを参照してください。

  http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/tsd-products-support-translated-end-user-guides-list.html

- ライセンス情報については、次のリンクを参照してください。

  http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/products-licensing-information-listing.html

アクセシビリティ機能

Cisco IP Phones は、視覚障がい者、聴覚障がい者、身体障がい者のために、ユーザ補助機能を備えています。

これらの電話機のアクセシビリティ機能の詳細については、http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/products-technical-reference-list.html を参照してください。

アクセシビリティの詳細については、次のシスコ Web サイトにも記載されています。

http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html

トラブルシューティング

コール品質の問題や、コールが予期せず切断される、機能が突然正常に動作しなくなるなどの問題が発生する場合があります。これらの問題は、次の状態に関連している可能性があります。

- 電話機がコール制御システムと通信できない。
- コール制御システムで通信または内部の問題が発生している。
- 電話機内部で問題が発生している。

問題が発生した場合は、管理者に連絡して問題の根本原因のトラブルシューティングを行ってください。

電話機に関する情報の検索

管理者から、電話機についての情報を提供するよう求められることがあります。この情報は、トラブルシューティングの目的で電話機を一意に識別するために使用されます。

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [電話の情報（Phone information）] を選択します。

ステップ 3 アクティブ ロード情報を表示するには、[詳細の表示（Show detail）] をクリックします。

ステップ 4 [アプリケーション（Applications）] 画面に戻るには、[終了（Exit）] を押します。

接続が失われた場合

さまざまな理由により、電話機とコール制御システムとの接続が失われることがあります。接続が失われた場合、電話スクリーンにアラート メッセージが表示されます。

アクティブ コール中に接続が失われた場合、そのコールは継続します。ただし、通常の電話機能の中にはコール制御システムからの情報を必要とするものがあるため、すべての機能にアクセスできるわけではありません。ソフトキーに機能が表示されなくなったり、ボタンを押してもアクションが実行されなかったりします。

電話機がコール制御システムに再接続すると、通常の電話機能が再び利用可能になります。

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com の http://www.cisco.com/go/hwwarranty で提供しています。

第 2 章

Calls

- コールの発信，15 ページ
- コールへの応答，18 ページ
- 音声のミュート，20 ページ
- コールの保留，20 ページ
- コールの転送，23 ページ
- 通話の転送，24 ページ
- 電話会議とミーティング，25 ページ
- 複数の回線，25 ページ

コールの発信

Cisco IP Phone は、通常の電話機と同様に機能します。より簡単な操作で通話を発信できます。

コールの発信

手順

番号を入力してハンドセットを持ち上げます。

スピーカーフォンによるコールの発信

手順

ステップ 1 キーパッドを使用して番号を入力します。

ステップ 2 [スピーカーフォン（speakerphone）] ボタン を押します。

ヘッドセットによるコールの発信

手順

ステップ 1 ヘッドセットを差し込みます。

ステップ 2 キーパッドを使用して番号を入力します。

ステップ 3 [ヘッドセット（headset）] ボタン を押します。

リダイヤルする

最後にダイヤルした電話番号をもう一度発信することができます。

手順

ステップ 1 （任意） 回線を選択します。

ステップ 2 [リダイヤル（Redial）] を押します。

ステップ 3 （任意） [発信（Placed）] コール リストから連絡先を選択して、[コール（Call）] を押します。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルでは、ボタンを押す、事前に設定したコードを入力する、または電話機の画面項目を選択することによって発信できます。電話スクリーンまたは電話機の Web ページから短縮ダイヤルを設定できます。

短縮ダイヤル コードを編集、削除、および検証できます。

関連トピック

設定ユーティリティ ページ, （4 ページ）
短縮ダイヤル番号, （5 ページ）

電話スクリーンからの短縮ダイヤル コードの割り当て

電話スクリーンから短縮ダイヤルを設定できます。また、電話機の設定ユーティリティ ページから短縮ダイヤル コードを割り当てることもできます。

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [短縮ダイヤル（Speed Dial）] を選択します。

ステップ 3 割り当てられていない短縮ダイヤルのインデックスまでスクロールします。

ステップ 4 [編集（Edit）] を押します。

ステップ 5 連絡先を検索するか、短縮ダイヤル コードを割り当てる連絡先を入力します。

ステップ 6 [確認（Validate）] を押します。

ステップ 7 [保存（Save）] を押して、選択した連絡先に短縮ダイヤル コードを割り当てます。

短縮ダイヤル コードを使用したコールの発信

はじめる前に

電話機の設定ユーティリティ ページまたは電話機の [アプリケーション（Applications）] メニューから短縮ダイヤル コードを設定します。

手順

ステップ 1 オンフック中にコールを発信するには、短縮ダイヤル コードを入力して [コール（Call）] を押します。

ステップ 2 オフフック中にコールを発信するには、短縮ダイヤル コードを入力して [ダイヤル（Dial）] を押します。

国際番号のダイヤル

電話番号の前にプラス記号（+）を付けると、国際電話をダイヤルできます。

手順

ステップ 1 アスタリスク（*）を 1 秒以上押したままにします。
電話番号の先頭にプラス（+）記号が表示されます。トーンが停止すると、* が + 記号に変わったことを示します。オフフックの場合に、トーンが聞こえます。

ステップ 2 番号をダイヤルします。
最後のキーを押してから 10 秒後に、電話機から番号が発信されます。

セキュア コール

社外の人物による不正な改ざんからコールを保護するために、管理者は措置を講じることができます。通話中にロック アイコンが電話機に表示される場合、通話は保護されています。電話機の設定によっては、電話をかける前にサインインする必要が生じたり、ハンドセットからセキュリティ トーンが聞こえたりすることがあります。

コールへの応答

Cisco IP Phone は、通常の電話機と同様に機能します。より簡単な操作で通話に応答できます。

コールへの応答

手順

赤色に点滅している回線ボタンを押します。

コール待機への応答

アクティブ コール中にコール待機が発生すると、ビープ音が一度聞こえて、回線ボタンが赤色に点滅します。

Cisco IP Phone 7811 はこの機能をサポートしていません。

手順

ステップ 1 （任意） 複数のコール待機が存在する場合は、着信コールを 1 つ選択します。
ステップ 2 回線ボタンを押す。

コールの拒否

アクティブコールまたは呼び出し中の着信コールを、ボイスメールシステムや設定済み電話番号に送信できます。また、呼び出し中の着信コールをサイレントにすることもできます。

手順

次のいずれかの操作を実行して、コールを拒否します。

- 着信コールを強調表示して、[拒否（Decline）] を押します。
- 着信コールを強調表示して、[無視（Ignore）] を押します。
- [音量（Volume）] を下に一度押すと、呼び出し中の着信コールがサイレントになり、着信コールはボイスメールまたは設定済み電話番号に転送されます。

サイレントをオンにする

特定の作業に集中したいときにサイレント（DND）機能を使用すると、電話機をサイレント状態にして着信コール通知を無視できます。

DND を有効にすると、着信コールはボイスメールなどの別の番号（設定されている場合）に転送されます。

DND がオンの場合、[サイレントはオン（DND is on）] が各回線番号の下に表示されます。

デフォルトでは、DND を有効にすると、その電話機のすべての回線が対象となります。[初期設定（Preferences）] メニューから特定の回線に対して DND を有効にすることもできます。ただし、DND がオンになっていてもインターコム コールと緊急通話は常に受信します。

手順

ステップ 1 サイレントをオンにするには、[サイレント（DND）] を押します。

ステップ 2 サイレントをオフにするには、もう一度 [サイレント（DND）] を押します。

関連トピック

設定ユーティリティ ページ, （4 ページ）
特定の回線に対するサイレントをオンにする, （45 ページ）

同僚の電話機への応答（コール ピックアップ）

同僚との間でコール処理タスクを共有している場合、同僚の電話機に着信しているコールに応答することができます。まず、管理者が少なくとも 1 つのコールグループにこのユーザを割り当てる必要があります。

グループ内のコールへの応答（ピックアップ）

自分のコール ピックアップ グループ内の別の電話機で鳴っているコールに応答することができます。ピックアップ対象のコールが複数ある場合、呼び出し時間が最も長いコールに応答することになります。

手順

ステップ 1 （任意） 回線ボタンを押す。

ステップ 2 自分のピックアップ グループ内の着信コールを自分の電話機に転送するには、[ピックアップ（PickUp）] を押します。

ステップ 3 （任意） コールが鳴ったら [応答（Answer）] を押してコールに接続します。

音声のミュート

手順

ステップ 1 [ミュート（Mute）] を押します。

ステップ 2 再度 [ミュート（Mute）] を押すと、ミュートはオフになります。

コールの保留

アクティブ コールを保留にし、準備が整ったらそのコールを再開することができます。

コールを保留にする

手順

ステップ 1 [保留（Hold）] ボタン を押します。

ステップ 2 保留中の通話を再開するには、もう一度 [保留（Hold）] を押します。

長時間にわたって保留されているコールへの応答

コールが保留状態のままになっていると、通知を受け取ることがあります。この通知は着信コールの通知に似ており、次の合図が出されます。

- 赤色に点滅する回線ボタン
- 受話器上で点滅するメッセージ インジケータ
- 電話スクリーン上の視覚的な通知

手順

赤色に点滅している回線ボタンまたは [再開（Resume）] を押して、保留中のコールを再開します。

アクティブ コールと保留コールの切り替え

手順

保留コールの回線ボタンを押すとそのコールが再開され、もう 1 つのコールが自動的に保留になります。

Cisco IP Phone 7811 上でのアクティブ コールと保留中のコールの切り替え

Cisco IP Phone 7811 には回線ボタンはありません。保留中のコールとアクティブ コールがある場合は、[コール（Calls）] ソフトキーが表示されます。また、3 つ以上のコールがある場合は、[コール（Calls）] ソフトキーが表示されます。

手順

ステップ 1 [コール（Call）] を押します。
ステップ 2 コールを選択します。
ステップ 3 [復帰（Resume）] を押します。

コール パーク

電話機を使用して、コールをパーク（一時保存）することができます。その後、別の電話機（同僚のデスクや会議室にある電話機など）からそのコールを取得できます。

コールがパーク状態にある時間が長すぎる場合、アラート トーンが聞こえます。この電話機でコールに応答することも、別の電話機からコールを受けることもできます。所定の時間内にコールに応答しない場合、システム管理者が設定した別の接続先（ボイスメールなど）にコールがルーティングされます。

コール パークを使用したコールの保留

自分の電話機で応答したアクティブ コールをパークしてから、コール制御システム内の別の電話機を使用してそのコールを受けることができます。

コール パーク番号にパークできるコールの数は 1 つだけです。

はじめる前に

コールをアクティブにする必要があります。

手順

ステップ 1 [パーク（Park）] を押します。
システムがコールをパークした番号を確認する録音が電話機で再生されます。
ステップ 2 番号を入力し、# キーを押します。
番号を入力せずに # キーを押すこともできます。この場合、システムはご使用の番号でコールをパークしています。
ステップ 3 （任意） パークされた番号を、コールに応答すべき担当者に伝達します。

コール パークを使用した保留中のコールの取得

ネットワークの任意の場所から、パークされたコールをピックアップできます。

はじめる前に

コールのパークに使用された番号が必要です。

手順

ステップ 1 [パーク解除（Unpark）] を押します。

ステップ 2 コールがパークされている番号と # を続けて入力します。
を入力することで、パークされている番号を取得することもできます。

コールの転送

電話機の回線にかかってきたコールを別の番号に転送することができます。コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。

コールを転送するには、次の 2 つの方法があります。

- すべてのコールを転送する
- 電話機がビジー状態の場合、または応答がない場合など、特殊な状況でコールを転送する。

コールが転送されることを確認するには、回線ラベルで [不在転送（Fwd All）] アイコンを探します。

手順

ステップ 1 すべてのコールの転送元となるアイドル状態の回線で、[不在転送（Fwd All）] を押します。

ステップ 2 自分の電話機からダイヤルするのとまったく同じ方法で転送先番号を入力するか、通話履歴からエントリを選択します。

ステップ 3 [ダイアル（Dial）] を押して、すべてのコールを指定した番号に転送します。

関連トピック

設定ユーティリティ ページ, （4 ページ）
特定の状況でのコールの転送, （44 ページ）
すべての回線でコール転送をオンにする, （47 ページ）

通話の転送

アクティブ コールを別の人に転送することができます。

から別の担当者にコールを転送する

コールを転送した場合、他の担当者が応答するまでは、元のコールに接続した状態を保つことができます。これにより、コールから自分を切断する前に、他の担当者と個別に話をする機会ができます。話す必要がない場合は、他の担当者が応答するのを待たずにコールを転送します。

また、コールから自分を切断する前に、両方の通話者の間で切り替えて、両者とそれぞれ個別に話し合うこともできます。

Cisco IP Phone 7811 は、コール間の切り替えをサポートしていません。

手順

ステップ 1 保留中ではないコールで、[転送（Transfer）] を押します。

ステップ 2 別の担当者の電話番号を入力します。

ステップ 3 （任意） 別の担当者がコールに応答するのを待ちます。

ステップ 4 （任意） [回線キー（Line key）] を押すと、保留中のコールに戻ります。

ステップ 5 再度 [転送（Transfer）] を押します。

転送を行う前の会話

コールを転送する前に、転送先の相手と会話することができます。転送を行う前に、元のコールと転送するコールを切り替えることもできます。

はじめる前に

転送の必要があるアクティブ コールがあります。

手順

ステップ 1 [転送（Transfer）] を押します。
ステップ 2 転送先の電話番号を入力します。
ステップ 3 [回線キー（Line key）] を押すと、保留中のコールに戻ります。
ステップ 4 [回線キー（Line key）] を押すと、転送先の電話番号に戻ります。
ステップ 5 [転送（Transfer）] を押して転送を完了します。

電話会議とミーティング

1 つのコールで複数の相手と話し合うことができます。別のユーザにダイヤルして、そのユーザをコールに追加することができます。複数の電話回線がある場合は、2 つの回線にまたがる 2 つのコールを結合できます。参加者全員が電話を切ると、会議は終了します。

コールへの他のユーザの追加

手順

ステップ 1 アクティブ コールから、[会議（Conference）] を押します。
ステップ 2 追加する通話相手の電話番号を入力し、[ダイヤル（Dial）] を押します。
ステップ 3 [会議（Conference）] を押します。
会議が開始されます。

複数の回線

他のユーザと電話番号を共有する場合、複数の回線を電話機で使用できます。複数の回線を使用するときには、より多くのコール機能を利用できます。

プライマリ回線でのすべてのコールの表示

You can have a list of current and missed calls display on your primary line.

Use this feature if you have multiple lines and want to see all your calls - on all lines - displayed on a single screen. You can still filter for a specific line.

Your administrator sets up this feature.

最も古いコールから先に応答

電話機のすべての回線における最も古いコールに応答できます。これには、アラート状態の保留復帰およびパーク復帰コールも含まれます。着信コールは、保留またはパーク復帰コールよりも常に優先されます。

複数の回線を利用している場合は、通常、応答する着信コールの回線ボタンを押します。回線とは無関係に最も古いコールに応答するには、[応答（Answer）] を押します。

電話機でのすべてのコールの表示

時系列（古いものから）順に並べられた、すべての電話回線のすべてのアクティブ コールのリストを表示することができます。

すべてのコールのリストは、複数の回線がある場合や、他のユーザと回線を共有している場合に役立ちます。リストには、すべてのコールが一緒に表示されます。

電話機

同じ電話番号を 1 人または複数の同僚と共有できます。たとえば、管理補佐の場合は、補佐している人物のコールを取り次ぐ必要があります。

電話番号を共有すると、他の通常の電話回線と同じようにその回線を使用できますが、共有回線の特性を理解しておく必要があります。

- 共有された電話番号は、その番号を共有しているすべての電話機に表示されます。
- 同僚がコールに応答すると、あなたの電話機の共有回線ボタンとセッションボタンが赤色に点灯します。
- 自分がコールを保留にした場合、自分の回線ボタンが赤色に点灯し、セッションボタンが赤色に点滅します。同僚の回線ボタンも赤色に点灯し、セッション ボタンは赤色に点滅します。

共有回線のコールに参加する

自分または同僚は、共有回線上のコールに参加できます。管理者が電話機の機能を有効にする必要があります。

手順

ステップ 1 共有回線の回線ボタンを押します。

ステップ 2 [割り込み（Barge）] を押すか、[割り込みサイレント（BargeSilent）] を押します。

第 3 章

連絡先（Contacts）

- 社内ディレクトリ，29 ページ
- パーソナル ディレクトリ，33 ページ

社内ディレクトリ

自分の電話機で同僚の番号を調べることにより、簡単に同僚に電話をかけることができます。管理者がこのディレクトリを設定し、保守します。

この電話機では、Lightweight Directory Access Protocol（LDAP）ディレクトリ、Broadsoft ディレクトリ、Cisco XML ディレクトリの 3 種類の社内ディレクトリをサポートします。

社内ディレクトリの連絡先のダイヤル

手順

ステップ 1 [連絡先（Contacts）] を押します。

ステップ 2 [社内ディレクトリ（Corporate Directory）] を選択します

ステップ 3 検索条件を選択します。

ステップ 4 検索条件を入力し、[送信（Submit）] を押します。

ステップ 5 連絡先を選択します。

ステップ 6 [ダイヤル（Dial）] を押します。

Broadsoft ディレクトリ

Broadsoft ディレクトリ内の個人、グループ、および企業の連絡先を検索して表示することができます。これにより、電話をかけやすくなります。管理者が電話機の Broadsoft ディレクトリを設定します。このアプリケーション機能では、BroadSoft の拡張サービス インターフェイス（XSI）が使用されます。

Broadsoft ディレクトリの連絡先の検索（簡易検索）

はじめる前に

- 管理者が電話機の Broadsoft ディレクトリを有効にします。
- ユーザ自身または管理者が Broadsoft ディレクトリのユーザ グループ タイプを [エンタープライズ（Enterprise）]、[グループ（Group）]、または [パーソナル（Personal）] として設定します。

手順

ステップ 1 [連絡先（Contacts）] を押します。

ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ（Broadsoft Directory）] を選択します。
Broadsoft ディレクトリに対して設定したディレクトリ名として名前を表示させることができます。

ステップ 3 [簡易検索（Simple Search）] を選択します。

ステップ 4 検索条件を入力し、[送信（Submit）] を押します。

Broadsoft ディレクトリの連絡先の検索（高度な検索）

はじめる前に

エンタープライズまたはグループとして、Broadsoft ディレクトリのユーザ グループ タイプを設定します。

手順

ステップ 1 [連絡先（Contacts）] を押します。

ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ（Broadsoft Directory）] を選択します。

ステップ 3 [高度な検索（Advance Search）] を選択します。

ステップ 4 検索条件を選択します。

姓、名、ユーザ ID、番号、内線番号、部門、および電子メールで Broadsoft ディレクトリ内の連絡先を検索できます。

ステップ 5 検索条件を入力し、[送信（Submit）] を押します。

Broadsoft ディレクトリの連絡先タイプの編集

手順

ステップ 1 [連絡先（Contacts）] を押します。

ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ（Broadsoft Directory）] を選択します。

ステップ 3 [設定（Configuration）] を選択します。

ステップ 4 [タイプ（Type）] を選択します。

ステップ 5 [編集（Edit）] を押して、連絡先タイプを選択します。
Broadsoft ディレクトリの連絡先タイプとして、[エンタープライズ（Enterprise）]、[グループ（Group）]、または [パーソナル（Personal）] を選択できます。

ステップ 6 [保存（Save）] を押して変更を適用します。

Boradsoft ディレクトリ名の編集

手順

ステップ 1 [連絡先（Contacts）] を押します。

ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ（Broadsoft Directory）] を選択します。

ステップ 3 [設定（Configuration）] を選択します。

ステップ 4 [ディレクトリ名（Directory Name）] を選択します。

ステップ 5 エントリを変更するには [編集（Edit）] を押します。

ステップ 6 [保存（Save）] を押して変更を適用します。

Broadsoft ディレクトリのサーバ名の編集

手順

ステップ 1 [連絡先（Contacts）] を押します。
ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ（Broadsoft Directory）] を選択します。
ステップ 3 [設定（Configuration）] を選択します。
ステップ 4 [ホスト サーバ（Host Server）] を選択します。
ステップ 5 [編集（Edit）] を押して、サーバ エントリを変更します。
ステップ 6 [適用（Apply）] をクリックして、変更内容を保存します。

Broadsoft ディレクトリのユーザ ID の編集

手順

ステップ 1 [連絡先（Contacts）] を押します。
ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ（Broadsoft Directory）] を選択します。
ステップ 3 [設定（Configuration）] を選択します。
ステップ 4 [ユーザ ID（UserID）] を選択します。
ステップ 5 [編集（Edit）] を押して、Broadsoft ディレクトリのユーザ ID を変更します。
ステップ 6 [適用（Apply）] をクリックして、変更内容を保存します。

Broadsoft ディレクトリ パスワードの編集

手順

ステップ 1 [連絡先（Contacts）] を押します。
ステップ 2 [Broadsoft ディレクトリ（Broadsoft Directory）] を選択します。
ステップ 3 [設定（Configuration）] を選択します。
ステップ 4 [パスワード（Password）] を選択します。
ステップ 5 [編集（Edit）] を押して、エントリを変更します。
ステップ 6 [適用（Apply）] をクリックして、変更内容を保存します。

LDAP ディレクトリ

Cisco IP Phone は、Lightweight Directory Access Protocol（LDAP）v3 をサポートします。名前、電話番号、またはその両方で指定された LDAP ディレクトリを検索できます。Microsoft Active Directory 2003 や OpenLDAP ベースのデータベースなどの LDAP ベースのディレクトリがサポートされます。

LDAP ディレクトリの連絡先の検索

手順

ステップ 1 [連絡先（Contacts）] を押します。

ステップ 2 [LDAP ディレクトリ（LDAP Directory）] を選択します。

ステップ 3 検索条件を入力します。
連絡先の姓名で検索できます。

ステップ 4 [ソウシン（Submit）] を押します。

パーソナル ディレクトリ

パーソナル ディレクトリを使用して、友人、家族、同僚などの連絡先情報を保管できます。独自の連絡先をパーソナルディレクトリに追加して、頻繁に通話する相手に短縮ダイヤル コードを割り当てることができます。

パーソナル ディレクトリは、電話機またはセルフ ケア ポータルから設定できます。電話機を使用して、短縮ダイヤル コードをディレクトリ エントリに割り当てます。

パーソナル ディレクトリへの新しい連絡先の追加

手順

ステップ 1 [連絡先（Contacts）] を押します。

ステップ 2 [パーソナル ディレクトリ（Personal Directory）] を選択します

ステップ 3 [新規パーソナル ディレクトリ エントリ（New Personal Dir Entry）] を選択し、[追加（Add）] を押します。

ステップ 4 名、姓、および番号を入力します。

ステップ 5 [保存（Save）] を押して、パーソナル ディレクトリにエントリを追加します。

パーソナル ディレクトリ内の連絡先の検索

手順

ステップ 1 [連絡先（Contacts）] を押します。

ステップ 2 [パーソナル ディレクトリ（Personal Directory）] を選択します

ステップ 3 [パーソナル ディレクトリの検索（Search Personal Directory）] を選択します。

ステップ 4 検索条件を入力し、[送信（Submit）] を押します。

パーソナル ディレクトリ内の連絡先への発信

手順

ステップ 1 [連絡先（Contacts）] を押します。

ステップ 2 [パーソナル ディレクトリ（Personal Directory）] を選択し、エントリを検索します。

ステップ 3 ダイヤルする個人アドレス帳のエントリを選択します。

ステップ 4 [ダイヤル（Dial）] を押します。

パーソナル ディレクトリ内の連絡先の編集

手順

ステップ 1 [連絡先（Contacts）] を押します。

ステップ 2 [パーソナル ディレクトリ（Personal Directory）] を選択し、エントリを検索します。

ステップ 3 変更するエントリを選択します。

ステップ 4 [編集（Edit）] を押します。

ステップ 5 エントリの情報を変更します。

ステップ 6 [保存（Save）] を押して、電話番号を変更します。

パーソナル ディレクトリからの連絡先の削除

手順

ステップ 1 [連絡先（Contacts）] を押します。

ステップ 2 [パーソナル ディレクトリ（Personal Directory）] を選択します

ステップ 3 [パーソナル ディレクトリの検索（Search Personal Directory）] を選択します。

ステップ 4 検索条件を選択し、[送信（Submit）] を押します。

ステップ 5 [削除（Delete）] を押して、削除を確認します。

第 4 章

通話履歴

- コール履歴リスト，37 ページ
- 通話履歴の表示，37 ページ
- 通話履歴への復帰，38 ページ
- 通話履歴のクリア，38 ページ
- コール レコードの削除，39 ページ

コール履歴リスト

履歴リストを使用すると、最近の 150 件の個別コールおよびコール グループを確認できます。

履歴リストに含まれるコールのうち、同じ番号の発信先/着信元が連続している場合はグループにまとめられます。また、同じ番号からの不在着信もグループにまとめられます。

通話履歴の表示

手順

ステップ 1 表示する回線を選択します。

ステップ 2 アプリケーション を押します。

ステップ 3 スクロールして [通話履歴（Call History）] を選択します。

通話履歴への復帰

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。
ステップ 2 [通話履歴（Call History）] を選択します
ステップ 3 （任意） 複数の回線がある場合は [すべての回線（All Lines）] または必要な回線を選択します。
ステップ 4 ダイヤルするコール レコードを選択します。
ステップ 5 （任意） [編集（EditDial）] を押して、コール レコードを編集します。
ステップ 6 [コール（Call）] を押します。

通話履歴のクリア

手順

ステップ 1 [アプリケーション（Applications）] を押します。
ステップ 2 [通話履歴（Call History）] を選択します
ステップ 3 （任意） [すべての回線（All Lines）] または目的の回線を選択します。
ステップ 4 [クリア（Clear）] を押します。
ステップ 5 [削除（Delete）] を押します。

コール レコードの削除

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [通話履歴（Call History）] を選択します

ステップ 3 （任意） [すべての回線（All Lines）] または目的の回線を選択します。

ステップ 4 削除する個々のコール レコードまたはコール グループを強調表示します。

ステップ 5 [削除（Delete）] を押して、グループ内の個々のコール レコードまたはすべてのコールを削除します。

ステップ 6 確認のため、再び [削除（Delete）] を押します。

ステップ 7 [戻る（Back）] を押します。

第 5 章

[ボイスメール（Voicemail）]

- ボイスメール アカウント，41 ページ
- 新着メッセージ インジケータ，41 ページ
- ボイスメールへのアクセス，42 ページ
- 音声ボイスメールへのアクセス，42 ページ

ボイスメール アカウント

電話機からボイス メッセージに直接アクセスすることができます。ただし、管理者がボイスメール アカウントと電話機をセットアップする必要があります。

それぞれのボイスメール システムは互いに異なるため、電話機からボイスメールにアクセスした後の使用方法については詳しく説明しません。ボイスメール システムで使用できるコマンドについては、ボイスメール システムのユーザ マニュアルを参照してください。

新着メッセージ インジケータ

新しいボイスメール メッセージが届いているかどうか確認するには、次のいずれかの表示を調べます。

- ハンドセット上のライト ストリップが赤色に点灯している。
- 不在着信の番号とボイスメール メッセージが画面上に表示されている。新しいメッセージの数が 99 を超えると、プラス（+）記号が表示されます。

また、電話回線を使用する際にハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンから断続トーンが聞こえることがあります。この断続トーンは回線によって異なります。断続トーンは、ボイス メッセージがある回線を使用しているときにのみ聞こえます。

関連トピック

設定ユーティリティ ページ, （4 ページ）

ボイスメールへのアクセス

手順

ステップ 1 [メッセージ（Messages）] ボタン を押します。

ステップ 2 音声プロンプトに従います。

音声ボイスメールへのアクセス

管理者による電話機のセットアップ方法によっては、メッセージ一覧を確認しなくてもボイスメールを取得できる場合があります。ボイスメール メッセージの一覧を使用するものの、ビジュアル ガイダンスなしでメッセージにアクセスすることもある場合には、このオプションが便利です。

手順

ステップ 1 スクリーン上で [音声（Audio）] ソフトキーを押します。

ステップ 2 要求されたら、ボイスメール資格情報を入力します。

第 6 章

設定

- 呼出音を変更する，44 ページ
- 特定の状況でのコールの転送，44 ページ
- 非通知着信拒否，45 ページ
- 発信者 ID の表示のブロック，45 ページ
- 特定の回線に対するサイレントをオンにする，45 ページ
- コールの保護，46 ページ
- 自動応答ページの設定，47 ページ
- すべての回線でサイレントをオンにする，47 ページ
- すべての回線でコール転送をオンにする，47 ページ
- ボイスメールの設定，48 ページ
- 時間形式の変更，49 ページ
- 日付形式の変更，49 ページ
- スクリーン セーバー モードの変更，50 ページ
- コントラストの調整，50 ページ
- 電話スクリーン バックライトの調整，51 ページ

呼出音を変更する

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [設定（Preferences）] > [呼出音（Ringtone）] を選択します。

ステップ 3 回線を選択します。

ステップ 4 呼出音のリストをスクロールし、[再生] を押してサンプルを聞きます。

ステップ 5 [設定] と [適用] を押すと選択した設定が保存されます。

特定の状況でのコールの転送

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [設定（Preferences）] > [コール転送（Call Forward）] を選択します。

ステップ 3 プライマリ回線で、次のいずれかのパラメータを選択します。

- [すべての着信をコール転送：番号（CFWD All Number）]：すべての着信コールを指定した電話番号に転送します。
- [話中の場合にコール転送：番号（CFWD Busy Number）]：プライマリ回線がアクティブ状態の場合、すべての着信コールを指定した電話番号に転送します。
- [応答されない場合にコール転送：番号（CFWD No Ans Number）]：応答されない着信コールを転送します。
- [応答されない場合にコール転送：遅延（CFWD No Ans Delay）]：応答遅延時間を割り当てます。コール転送モードとして[応答されない場合にコール転送：遅延（CFWD No Ans Delay）]を選択した場合、その時間を割り当てることができます。

ステップ 4 [編集（Edit）] を押して、コールの転送先となる電話番号を入力します。

ステップ 5 [適用（Apply）] を押して、コールの転送先となる電話番号を確認します。

ステップ 6 を押して、回線 1 の画面に戻ります。

ステップ 7 [終了（Exit）] を押して [設定（Preferences）] 画面に戻ります。

関連トピック

コールの転送, （23 ページ）

非通知着信拒否

発信者情報がない着信コールをブロックできます。

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [設定（Preferences）] > [コールの設定（Call Preference）] > [非通知着信拒否（Block Anonymous Call）] を選択します。

ステップ 3 発信者情報がないコールをブロックする場合は、[はい（Yes）] を、コールを許可する場合は [いいえ（No）] を選択します。

ステップ 4 を押すと変更内容が保存され、[コールの設定（Call Preference）] 画面に戻ります。

発信者 ID の表示のブロック

電話をかける相手から、発信者の名前と番号を隠すことができます。

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [設定（Preferences）] > [コールの設定（Call Preference）] > [発信者 ID のブロック（Block Caller ID）] を選択します。

ステップ 3 [はい（Yes）] を押して発信者 ID の表示をブロックするか、[いいえ（No）] を押して発信者 ID の表示を許可します。

ステップ 4 を押すと変更内容が保存され、[コールの設定（Call Preference）] 画面に戻ります。

特定の回線に対するサイレントをオンにする

特定の作業に集中したいときにサイレント（DND）機能を設定すると、電話機をサイレント状態にして着信コール通知を抑止できます。すべての着信コール通知を抑止することも、特定の通話者の通知を抑止することもできます。

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [設定（Preferences）] > [コールの設定（Call Preference）] > [サイレント（Do Not Disturb）] を選択します。

ステップ 3 リストから特定の回線を選択します。

ステップ 4 [編集（Edit）] を押します。

ステップ 5 [はい（Yes）] を押してサイレント（DND）をオンにするか、[いいえ（No）] を押してオフにします。

ステップ 6 を押すと変更内容が保存され、[コールの設定（Call Preference）] 画面に戻ります。

関連トピック

サイレントをオンにする，（19 ページ）

コールの保護

盗聴を防ぐためにコールを暗号化できます。すべての発信コールまたは特定のコールに対してセキュア コール機能を設定できます。

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [設定（Preferences）] > [コールの設定（Call Preference）] > [セキュア コール（Secure Call）] を選択します。

ステップ 3 [はい（Yes）] を押すとセキュア コール機能は有効になり、[いいえ（No）] を選択するとセキュア コール機能は無効になります。

ステップ 4 を押すと変更内容が保存され、[コールの設定（Call Preference）] 画面に戻ります。

自動応答ページの設定

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [設定（Preferences）] > [コールの設定（Call Preference）] > [自動応答ページ（Auto Answer Page）] を選択します。

ステップ 3 [編集（Edit）] を押します。

ステップ 4 自動応答ページを有効にする場合は [はい（Yes）] を、自動応答ページを無効にする場合は [いいえ（No）] を押します。

ステップ 5 を押すと変更内容が保存され、[コールの設定（Call Preference）] 画面に戻ります。

すべての回線でサイレントをオンにする

集中したいときに、すべての回線ですべての着信コール通知をオフにすることができます。

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [設定（Preferences）] > [コールの設定（Call Preference）] > [DND グローバル モード（DND Global Mode）] を選択します。

ステップ 3 すべての回線で DND を設定するには、[すべての回線（All Lines）] を選択します。

ステップ 4 選択した回線で DND を設定するには、[回線単位（Per Line）] を選択します。

ステップ 5 [設定（Set）] を押して、モードを適用します。

すべての回線でコール転送をオンにする

すべての回線または単一の回線でのコール転送の値を変更できます。

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [設定（Preferences）] > [コールの設定（Call Preference）] > [CFWD グローバル モード（CFWD Global Mode）] を選択します。

ステップ 3 [すべての回線（All Lines）] を選択します。
コール転送の設定で適用する変更はすべて、他のすべての回線に影響します。機能キーの同期が有効にされている回線には、変更は影響しません。

ステップ 4 [回線単位（Per Line）] を選択します。
コール転送の設定で適用する変更はすべて、選択した回線にのみ影響し、他の回線には影響しません。

ステップ 5 [設定（Set）] を押して、モードを適用します。

関連トピック

コールの転送, （23 ページ）

ボイスメールの設定

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [設定（Preferences）] > [ボイスメール（Voice Mail）] を選択します。

ステップ 3 [編集（Edit）] を押します。

ステップ 4 電話番号を入力して、ボイスメールをチェックします。
[メッセージ（Messages）] ボタンを押すと、ボイスメール番号をダイヤルし、ボイス メッセージのリストを表示します。

ステップ 5 [適用（Apply）] を押して割り当てた番号を確定するか、[復元（Revert）] を押して前のボイスメール番号に戻します。

ステップ 6 [保存（Save）] を押して変更内容を保存するか、[キャンセル（Cancel）] を押します。

ステップ 7 を押して、番号を適用せずに [ボイスメール（Voice Mail）] 画面に戻ります。

時間形式の変更

電話スクリーンに表示される現在時刻の形式を変更できます。

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [設定（Preferences）] > [時刻形式（Time Format）] を選択します。

ステップ 3 [編集（Edit）] を押して、時間形式を変更します。

ステップ 4 時間形式を選択し、[保存（Save）] を押します。

日付形式の変更

電話機画面に表示する日付形式を変更することができます。

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [設定（Preferences）] > [日付形式（Date Format）] を選択します。

ステップ 3 [編集（Edit）] を押して、日付形式を変更します。

ステップ 4 日付形式を選択し、[保存（Save）] を押します。

スクリーン セーバー モードの変更

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。
ステップ 2 [設定（Preferences）] > [スクリーン セーバー モード（Screen Saver Mode）] の順に選択します。
ステップ 3 [スクリーン セーバーを有効にする（Enable Screen Saver）] を選択します。
ステップ 4 [編集（Edit）] を押します。
ステップ 5 [はい（Yes）] を選択するとスクリーン セーバーは有効になり、[いいえ（No）] を選択するとスクリーン セーバーは無効になります。
ステップ 6 [スクリーン セーバーの待機時間（Screen Saver Wait Time）] を選択します。
ステップ 7 [編集（Edit）] を押してスクリーン セーバーの待機時間を変更します。
ステップ 8 [適用（Apply）] を押します。
ステップ 9 [スクリーン セーバー アイコン（Screen Saver Icon）] を押します。
ステップ 10 必要なアイコンを選択します。
ステップ 11 [設定（Set）] を押して、選択を確認します。
ステップ 12 を押して、[スクリーン セーバー モード（Screen Saver Mode）] 画面に戻ります。
ステップ 13 [期間の更新（Refresh Period）] を選択します。
ステップ 14 スクリーン セーバーの更新時間を設定するため [編集（Edit）] を押し、時間を入力します。
ステップ 15 [適用（Apply）] を押します。
ステップ 16 を押して、[設定（Preferences）] 画面に戻ります。

コントラストの調整

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。
ステップ 2 [設定（Preferences）] > [コントラスト（Contrast）] を選択します。
ステップ 3 ナビゲーション クラスタを下に押すとコントラストが減り、上に押すと増します。
ステップ 4 コントラストを設定するには、[保存（Save）] を押します。

電話スクリーン バックライトの調整

電話スクリーンを周囲の照度条件に応じて読みやすくするため、バックライトを調整できます。

Cisco IP Phone 7811 にはバックライトがありません。

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [設定（Preferences）] > [バックライト タイマー（Backlight Timer）] の順に選択します。

ステップ 3 [編集（Edit）] を押して、バックライト モードを変更します。

ステップ 4 [オン（On）] を押してバックライトをオンにするか、[オフ（Off）] を押してバックライトをオフにします。
バックライトをオンにしておく期間を設定するための時間をリストから選択することもできます。

ステップ 5 （オプション）バックライトをオフにしておく期間を設定するための時間をリストから選択します。
また、バックライトを常にオンにしておくオプションも選択できます。

ステップ 6 [選択（Select）] を押して、選択したバックライト モードを適用します。

第 7 章

アクセサリ

- サポートされるアクセサリ，53 ページ
- ヘッドセット，54 ページ

サポートされるアクセサリ

Cisco IP Phone 7800 シリーズは、シスコ製とサードパーティ製の両方のアクセサリをサポートします。

次の表で、X は特定の電話モデルでアクセサリがサポートされることを示し、ダッシュ（-）はサポートされないことを示します。

表 2：***Cisco IP Phone 7800*** **シリーズのアクセサリ サポート**

アクセサリ	タイプ（Type）	Cisco IP Phone 7811	Cisco IP Phone 7821	Cisco IP Phone 7841	Cisco IP Phone 7861
サードパーティ製アクセサリ					
ヘッドセット	アナログ	-	X	X	X
	アナログ ワイドバンド	-	X	X	X
マイク	外部	-	-	-	-
講演者	外部	-	-	-	-
壁面取り付け	外部	X	X	X	X

ヘッドセット

サポートされるヘッドセットの一覧については、http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.htmlを参照してください。

アクティブ コール中にヘッドセットを電話機に差し込むと、オーディオ パスが自動的にヘッドセットに切り替わります。

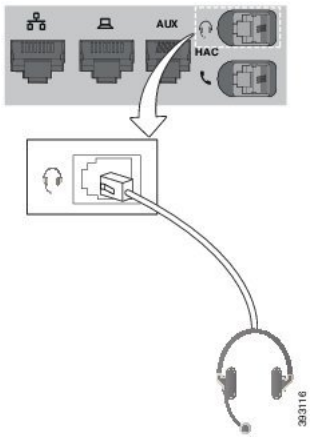
標準ヘッドセット

標準のヘッドセットは、RJ-11 コネクタを使用して電話機の背面に差し込みます。

標準ヘッドセットの接続

手順

電話機背面のジャックにヘッドセットを差し込み、ケーブル チャネルの中にケーブルを押し込みます。



次の作業

標準のヘッドセットが広帯域オーディオに対応している場合は、ワイドバンド標準ヘッドセットの設定, （54 ページ）を実行する必要があります。

ワイドバンド標準ヘッドセットの設定

広帯域オーディオに対応するヘッドセットを使用できます。広帯域オーディオを使用すれば、ヘッドセットから出力される音の品質が向上します。

手順

ステップ 1 アプリケーション を押します。

ステップ 2 [アクセサリ（Accessories）]>[アナログヘッドセット（Analog headset）]>[セットアップ（Setup）] を選択します。

ステップ 3 [オン（On）] または [オフ（Off）] を押してアナログ ヘッドセット用ワイドバンドを有効または無効にします。

ステップ 4 [戻る（Return）] を押します。

第 8 章

製品の安全性とセキュリティ

- 安全性とパフォーマンスに関する情報，57 ページ
- FCC 準拠宣言，58 ページ
- シスコ製品のセキュリティの概要，59 ページ
- 重要なオンライン情報，59 ページ

安全性とパフォーマンスに関する情報

停電

電話機を経由して緊急サービスにアクセスするには、その電話機が電力を受信する必要があります。停電が発生した場合、電源が復旧するまでは、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルが機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、電話サービスおよび緊急コール サービス ダイヤルを利用する必要があります。

外部デバイス

不要な無線周波数（RF）信号および可聴周波数（AF）信号を遮断する高品質の外部デバイスを使用することをお勧めします。外部デバイスには、ヘッドセット、ケーブル、コネクタが含まれます。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次の方法で対処することをお勧めします。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。

- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタのパフォーマンスを保証できません。

注意 欧州連合諸国では、EMC Directive（89/336/EC）に完全に準拠した外部スピーカー、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

電源について

イーサネット ケーブルを使って電話機を LAN に接続することにより、電話機の全機能が使用可能になります。イーサネット ポートに Power over Ethernet（PoE）が装備されている場合、電話機の電源を LAN ポートから供給することができます。建物の外側に LAN イーサネット ケーブルを延長しないでください。

ネットワーク輻輳時の電話の動作

ネットワーク パフォーマンスを低下させるすべての要因によって Cisco IP Phone の音声とビデオの品質が影響を受ける可能性があり、場合によっては通話が切断されることもあります。ネットワーク速度低下の原因として、たとえば次のようなアクティビティがあります。

- 内部ポート スキャンやセキュリティ スキャンなどの管理タスク
- ネットワークで発生する DoS 攻撃などの攻撃

FCC 準拠宣言

連邦通信委員会（FCC）は、次の項目に関する準拠宣言を義務付けています。

FCC Part 15.21 に関する宣言

装置に対し、準拠に責任を負う関係者によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、ユーザがこの装置を使用する権利は無効になります。

FCC RF 被曝に関する宣言

この装置は、制御されていない環境に対して規定された FCC 被曝制限に準拠しています。エンドユーザは、特定の操作指示に従い、RF 被曝に関する準拠事項を満たす必要があります。このトラ

ンスミッタは、ユーザから 20 cm 以上離して使用する必要があり、他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に配置したり、同時に操作したりすることはできません。

FCC レシーバおよびクラス B デジタル装置に関する宣言

この製品はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定されたクラス B デジタル装置の仕様に準拠しています。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合、装置のオン/オフを切り替えると干渉を確認できます。その場合は、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 装置間の間隔を大きくする。
- 装置をレシーバとは別のコンセントに接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオまたは TV 技術者に支援を要請する。

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に際しては、米国および他国の法律が適用されます。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意したものと見なされます。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、http://www.bis.doc.gov/policiesandregulations/ear/index.htm をご覧ください。

重要なオンライン情報

エンド ユーザ ライセンス契約書

エンド ユーザ ライセンス契約書（EULA）は次の場所にあります。 http://www.cisco.com/go/eula

法規制の遵守および安全性情報

法規制の遵守および安全性情報（RCSI）については、以下を参照してください。 http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cuipph/all_models/regulatory_compliance/english/install/guide/iphrcsi3.html